

令和4年10月13日(木)

## ♪ほっと通信 番外編 ~運動会~♪

(心の支援、中島祐子)

付属幼稚園の運動会...そこには成功より成長を喜び合うみなぎしがありました。

元気いっぱい、やる気マンマン、笑顔ニコニコの場面ばかりではありません！

緊張して泣けた場面、不安いっぱいで固まった場面、先生抱っこ抱っここの場面、

怖じけずいて体が動かなかつた場面、ゆっくりゆっくりの場面、

お母さんが恋しくなった場面、輪の中に入りづらかった場面などなど...

そのような場面に遭遇した子ども達の姿を追っていると、

必ずその子のタイミングで次のステップに進んでいるのです。

子ども達を見ていると、スムーズにいかない場面を体験したからこそ、

先生のサポートや友だちの応援やちょっとしたきっかけで気を取り直し、

チャレンジできたその時の晴れ晴れとした表情の誇らしげなこと...その勇姿は、

「お父さん、お母さん、そんなにヤキモキハラハラしなくて大丈夫！」

だってボク...キラリ輝いているシーン、いっぱいあつたでしょう？

全ての体験がボクの成長の糧になってるんだよ。

だから、ボクの中の力を信じて応援してくれることが一番うれしいんだ！」

そんなおとな達への力強い愛のメッセージが聞こえてくるようでした。

そして、多様な持ち味の子ども達の姿を通して、

あの金子みすゞさんの詩『わたしと小鳥とすずと』の

「みんなちがってみんないい」の一文が、メロディーのように何度も過ぎた私です。

同じ学年でも見事に様々な子ども達...気の強い子に平和志向の子、

マイペースさんにせっかちくん、社交家に恥ずかしがりやさん、

慎重派に怖いもの知らず、好きなこともみんな違う...

どの子どもも唯一無二のユニークな素晴らしい存在です。

デコとボコがみんな違うから豊か！みんな得意不得意が違うから助け合える！

デコだけの子もボコだけの子もない！

人間は一律の規格品じゃないから、他の誰かと比べても本当に意味がない！

一年前の自分と比べたら、成長していない子は誰もいない！

これって大人も子どもも等しく言える真実だなあと思います。

これからも、おさない子どもたちの大切な命と純粋な瞳が守られますように...

ひとりひとりの成長の芽が、自分のペースですくすく育つように...

ここに集うみんなの笑顔が守られる安心安全な世界を作つていけますように...

祈るような気持ちで応援させて頂いたひとときでした。

最後の園長先生の涙に、私の涙腺も... (T.T)

それほど子ども達は、その小さな身体で全身全霊をもって、

愛と感動を私たちにプレゼントしてくれてるのでなあと...

付属幼稚園の全ての子どもたち...勇気と希望をありがとうございます♪(▽)

育んで下さっている保護者の皆さま、先生方...本当にありがとうございます♡